

神奈川県立岸根高等学校における学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立岸根高等学校における学校運営協議会
開催日時	平成29年6月6日(火) 15:30~16:55
開催場所	神奈川県立岸根高等学校 応接室
出席者	神奈川県立岸根高等学校学校運営協議会委員9名
次回開催予定日	平成29年10月
問い合わせ先	副校長 近藤 Tel. 045-401-7920 Fax. 045-402-8406
下欄に掲載するもの	議事録
審議(会議)経過	<p>I 校長より</p> <p>(1) 挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールに移行して2年目だが、法改正により「学校運営協議会を設置できる」から「設置に努めなければならない」に変更になった。 ・平成29年度に新たに21校がコミュニティ・スクールに指定され、26校となった。 <p>(2) 委員の委嘱及び委員紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員の自己紹介 <p>(3) 会長・副会長の選出</p> <p>II 会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜市でもコミュニティ・スクールの設置を進めている。 ・岸根高校が「日本一のコミュニティ・スクール」となるよう全員で頑張りたい。 <p>III 報告事項</p> <p>1 岸根コミュニティ・スクール概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則 ・学校運営協議会の役割は、「学校運営の基本方針の承認」「学校評価」が中心。 ・前年度、グループ討論を2回行い、多くの意見を頂いた。

	<ul style="list-style-type: none"> ・岸根コミュニティ・スクールの実働組織は、4つの部会である。 ・学校評価→評価委員がグループ会議に出席、4段階評価・記述により評価を行う。 <p>2 平成28年度岸根コミュニティ・スクールまとめ</p> <p>2-1 学校運営協議会の組織</p> <p>2-2 平成28年度学校運営協議会活動報告</p> <p>2-3 学校運営協議会の意見</p> <p>2-4 部会の取り組み状況</p> <p>2-5 学校運営協議会の成果と課題</p> <p>2-6 岸根コミュニティ・スクールの成果と課題</p> <p>2-7 平成28年度地域連携の活動</p> <p>2-8 平成28年度学校評価</p> <p>IV 協議事項</p> <p>1 平成29年度学校運営の基本方針の承認</p> <p>1-1 学校基本計画</p> <p>1-2 教育課程編成</p> <p>1-3 組織編成</p> <p>1-4 学校予算の編成および執行</p> <p>1-5 施設管理・設備の整備</p> <p>《説明・質疑・意見・回答等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岸根高校のランドデザインの紹介 ・昨年よりも「特色ある教育活動」の部分がリニューアルされている。 ・学校要覧の内容（P9～）を承認してもらいたい。 ・授業時数の確保と行事の活性化 ・キャリア意識：教育実習生の体験談や進路説明会等で意識を高める。 ・教育課程：大学入学共通テストに向け、英語の4技能を高めるために何を行うか。 ・就学支援金：生徒の71%が対象 ・施設管理：屋上防水をやり直す（雨漏りを防ぐ）。 ・体育館の屋根を直す。 <p>◎上記の5項目、「学校運営の基本方針」について承認された。</p>
--	--

	<p>2 平成29年度岸根コミュニティ・スクール</p> <p>2-1 岸根コミュニティ・スクール組織図</p> <p>2-2 学校運営協議会</p> <p>2-3 部会</p> <p>2-4 岸根コミュニティ・スクール・プロジェクト・チーム (CSPT)</p> <p>2-5 平成29年岸根コミュニティ・スクール年間計画</p> <p>V 意見交換</p> <p>1 グループ討論のテーマ検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員と協議のうえ、決定していく。 <p>2 その他（紀要の作成等）</p> <p>【質疑応答・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業時間を長くするのはどうか（55分授業など） <p>→部活の始まりが30分遅れるなどの課題が残る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の主体的な動きはあったか <p>→運動会では応援団とそれ以外の生徒間の意識のギャップを埋めるよう努めた。</p> <p>→新たな委員会設立はないが地域連携委員が活動している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携委員はどういった活動をしているのか（委員を活用して地域の人たちと関われるのでは） <p>→現状、地域連携の話をクラスに伝達していく活動が主。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域は多いが、企業が少ない。営利活動に関わっていく必要がある。企業連携委員があっても良いのでは。 ・CSが与える生徒への教育的意義は何か。 <p>→アメフトや競技かるたなど、下の年代と関わる活動を行うことで自己有用感は養われている。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
会 議 資 料	省略